

萩市
HAGI

議会だより

2006.10.15 No.2

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



八岐大蛇 (むつみ)

9月定例会

一般質問	2 ~ 8
議案紹介	9 ~ 15
地域のイベント	16

P



11月3日~12日 国民文化祭・やまぐち2006



一般質問



斉藤 眞治
(市民リベラル・民主党)

NPOとの協働で (活動促進・推進 条例の制度)は

【問】まちづくりには、市民の参加・参画が大切です。そこで市民との協働の定義・理念についてお尋ねします。また、新しい協働型行政スタイルには、NPO法人が行う活動を行政が支援するための「NPO活動促進推進条例を制定し、総合評価方式を取り入れた要綱による支援策が必要である」と考えますが、見解をお尋ねします。

【答】これまで自治体が独占的に提供してきた公共サービスを自治体だけではなく、市民やNPO法人や市民団体のそれぞれが行い、また、協働して行うと

いう時代背景があります。協働とは自治体・市民・NPO法人等が相互に存在を認識しあいながら共通の目的を実現すべく活動するものと理解しています。市民と行政の協働については大きな政策課題であり、萩市の基本構想を策定する中で議論を進め、更に条例が必要であるかを判断していきたいと思えます。

少子化に伴う 保育行政の将来性 をどう考えるか

【問】合併後の人口の推移では少子化傾向にあることから、保育園の将来性を危惧します。「温もりのあるまち」は、安心して子供を生み育てる環境が必要で、また、保育は行政の責務であることから①旧町村の保育園の将来像。②次世代育成支



旧町村の保育園

援対策推進法による行動計画の状況。③保育における指定管理者制度について見解をお尋ねします。

【答】①幼稚園・保育園の両機能を併せ持つ「認定こども園」制度および分園化・統合も含め今後検討していく必要があると考えます。②現在策定中の萩市健康福祉計画の中で行動計画を策定することとしており、子育てしやすい職場環境づくりの実現に向け、普及啓発に努めたいと思えます。③将来的な公立保育園の運営を検討していく中で、指定管理者制度も選択肢の一つだと思えます。いずれにしても、慎重に議論を尽くし検討する必要があります。



西島 孝一
(政和会)

地域協議会の現状 と、課題解決の取 り組みについて

【問】本年度5月1日に協議会が設置され、スタートしたところ

です。それぞれの協議会において出された意見要望について、今後全市民が問題点を共有しあい、問題解決に向けて互いに知恵を出し合っていくのが重要であると思えます。各地域の抱える課題やその対応策について、全市民にどのように周知徹底されるのかお尋ねします。

【答】7地域協議会から提出された「合併後1年余り経過した時点での、各地域の問題点と課題およびその対応」について、答申の内容を検討し、その結果を各協議会へ報告します。市民の皆さんには、市報により各地域協議会の答申の概要をお知らせします。また、萩市ホームページには答申の全内容を掲載します。その他、行政推進員会議やタウンミーティング等には資料として配布します。

今魚店金谷線の 国道191号までの ルート説明は

【問】この件については3度目の質問となります。都市計画道路の今魚店よりの整備が進むにつれ、城東橋からキヌヤのある国道191号に抜ける交通量増



今魚店金谷線

加が見られ、事故が多発している現状を訴えてきました。一日も早いルート決定をし、交通安全対策を念頭に置き、関係住民への説明会開催も含め、今後の対応をお尋ねします。

【答】都市計画決定されている今魚店金谷線のうち城東橋から国道191号までの約300mは、県事業として施工予定です。今後のスケジュールは、平成19年度に現地調査・測量・設計の予定であり、現地調査の前に立ち入り等、関係者への地元説明会が開催される予定です。ご指摘のとおり、城東橋から国道191号までの道路は、狭隘で交通安全の面からも早期整備が必要であり、萩市としても、早期実施、早期完成を県に強く要望してまいります。



藤田克弘 (緑風会)

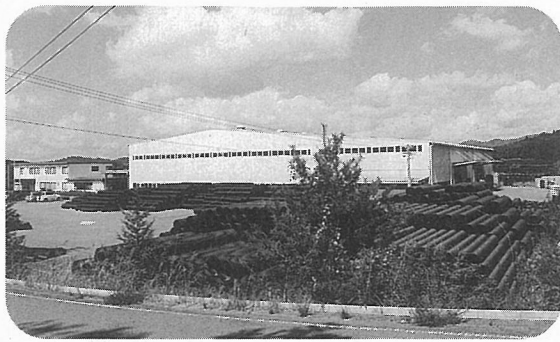
「働く場」の確保について

これまでの進捗状況と今後の見通しについてお尋ねします。

【答】萩・企業誘致推進チームは、現在コールセンターを誘致するために会社訪問を行っている。これまで首都圏を中心におよそ50社を超える事業者を山口県と連携して訪問しております。しかし、なかなか企業誘致は一朝一夕にできるものではありません。その原因としては、萩市のアクセスの悪いこと、人口規模が小さく従業員の確保が難しいと考えられていることなどの問題があります。このため誘致については長い目で見ていただきたいと思います。

をお尋ねします。

【答】合併後の諸指標を踏まえ、どのような財政運営を行っているかが大きな課題と認識しています。その中で、新市建設計画に掲載された事業の同時スタートは不可能です。今後はこのような形で事業に優先順位を付けるのか、緊急課題は何か、また地域バランスや投資効果も考えながら事業展開をしていきます。なお雇用問題や境界的集落対策もあります。財政状況も念頭におきつつ、これらにどう対応していくか、限られた予算の中で考えていきます。



むつみ企業団地

今後の財政運営について

【問】萩市の平成17年度の財政力指数は0.33で、経常収支比率は92.2、公債費比率は16.3であり、財政構造の弾力性は失われていません。

【答】そこで限られた一般財源を如何に効率よく配分し、行政水準の向上に努めるか、当局の手腕が問われるところですが、今後の財政運営について市長の所見



中村洋一 (公明党)

「認定こども園」の取り組みについて

【問】親の就労に関係なく乳幼児0歳から5歳までを受け入れ、教育や保育を一体的に提供し、預かり時間も保育園と同じ8時間に拡大するなど、幼稚園と保



中山間地域

育園の「垣根」を無くし双方の特長を生かしながら地域に密着した子育て支援を行う総合施設「認定こども園」が10月に法施行されます。萩市では、この「認定こども園」の認定に向けてどのような考え方で取り組まれるのか、お尋ねします。

【答】旧町村部においては、就学前児童の受け入れ施設が保育園のみとなっており、幼稚園のある萩地域とは違い利用者の選択肢がない状況です。また、定員割れを起こしている保育園もあることから、就学前児童の教育・保育の場の確保、住民サービス向上の面から「認定こども

「中山間地域づくり」プロジェクトについて

園」については検討すべきであるかと考えます。今後、詳細な情報収集に努め、早い時期に関係者を含めた協議検討ができる仕組みづくりをしたいと考えています。

【問】市町村合併に伴い、新市の周辺部に位置することになった地域。これら中山間地域の更なる活性化を図るため、県では12の重点プロジェクトが示されました。市の中山間地域づくりビジョンとなる振興指針の策定が急務と考えます。これをふまえ、重点プロジェクトのスムーズな推進に向け、市長の見解をお尋ねします。

【答】中山間地域対策は最重点課題のひとつと考えます。限界的集落、危機的集落などといわれるような集落の崩壊に歯止めをかけていく必要があります。12の重点プロジェクトの中にはすでに取り組んでいるものもありますので、重複しないよう実施を検討します。また、振興指針策定には早急に取り組めます。



横山賢治 (新風会)

萩市の観光行政について

【問】宿泊客の分析と今後の戦略について、宿泊客年間40万人と言われる中で観光目的宿泊客の実態と、その対応について質問します。また、核となる観光施設の創設について、まちじゅう博物館という表現がありますが、萩博物館は教育文化施設と認識しています。観光客が満足いく核となる観光施設が必要と考えますが見解をお尋ねします。

【答】アンケート結果や宿泊客の形態を見ると、観光客のスタイルも多様化しています。そう言う中で、萩市の持つ特性を活かしていくことが重要です。萩市は全国に例のない観光資産を持っています。これらを最大限に活用し、まちじゅう博物館構想に基づき、市内のいたるところで本物にふれ、ゆったりとした時間と空間を感じることを



市民球場跡地

て、市民と観光客が交流する観光を目指し、事業を展開していきます。

付加価値行政の推進について

【問】財政運営が深刻化している中で、人件費が萩市の予算の約2割を占めています。これを一種の投資的経費と考え規定の概念から脱却して、アイデアを集積したり、行政に経営感覚を取り入れることが必要です。そのことによつて暮らしやすいまちづくりが可能でないかと考えますが、このような行政の意識

改革についてお尋ねします。

【答】人材への投資は萩市の将来に対する投資ととらえ、職員への意識改革と能力開発を進めるため、自治体大学校へ継続的に、山口県セミナーパークへは毎年約150人を派遣しています。

また、内閣府や姉妹都市での実務研修も行ってきました。さらに、職員提案制度を実施し、優れた提案については、人事記録に実績を残すとともに先進地への視察派遣も行います。市役所は市民のためのサービス機関であり、市の将来を担う人材育成に努めます。



守永忠世 (新風会)

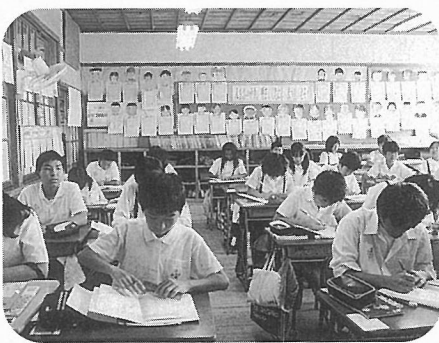
全国「学力テスト」について

行政の対応

【問】現在、国力の基礎となる教育が日本では危機的な状況にあります。状況打破のために子供や学校・自治体が自らの位置を見極めていく環境づくりが必

要として、全国学力テストが実施されます。2007年度から小学6年、中学3年を対象として行われる予定ですが、市町村が反対する場合は強制はしないがあります。萩市での取り組みについてお尋ねします。

【答】この「全国学力・学習状況調査」については、「義務教育の機会均等や、一定以上の教育水準が確保されているかを把握し、教育の成果と課題などの結果を検証する」「教育委員会および学校が広い視野で教育指導等の改善を図る」という意義・目的から、対象となる全児童・生徒が参加することを原則としています。萩市教育委員会としても「実施要領」に従いながら、実施の方向で考えており、この調査の周知を各学校に図っています。



小学校授業風景

萩有料道路の早期無料化について

【問】新萩市が誕生して、萩有料道路は市内中心部と各地域を結ぶ道路として、また陰陽を結び経済活動・観光道路・地域活性化の重要な役割を果たしています。各地域の方々からもさまざまな観点から無料化に対する強い要望が出され現在に至っています。この強い要望に今後どのように対処されるのかお尋ねします。

【答】萩有料道路の無料化については、合併時にもさまざまな議論があり、早期の無料化実現について取り組むこととなっています。また、地域協議会においても早期無料化の要望が出されています。問題は、有料道路制度の中で、工事費に充てた債務の償還をどのようにするかです。萩有料道路の無料化に向け、地域団体や経済団体をはじめ全市を挙げた市民組織を設立し、県および道路公社に要望していきたいと考えています。



江原任子 (公明党)

山口県福祉文化大 学に夜間部の設置 を

【問】明年4月山口福祉文化大
学では新構想の下、子ども生活
学・福祉心理・健康スポーツ・
福祉環境デザイン等の4コースか
ら成るライフデザイン学部が開
設されます。働く方々から、社
会福祉士や臨床心理士などの資
格取得や一般教養を身に付ける
ため、大学に「夜間部の設置」
を切望されています。是非とも
強い働きかけを願ひ、市長の見
解をお尋ねします。

【答】山口県福祉文化大学の
大きな特色としてダブルスクール・
ダブルライセンスという言い方
をしています。山口福祉文化大
学の開設2年目において、夜間
のりハビリテーション系の専門
学校を併設する計画であり、現
在、その検討がなされています。
ここで作業療法士や理学療法士
などの受験資格が得られること



萩国際大学

になりますが、大学の夜間部で
はありません。何とかそういっ
たものが実現されるよう要望し
ていきます。

街路樹の植栽に ついて

ついて



近江郁宣 (緑風会)

の取り組みについてお尋ねしま
す。
【答】ヒマラヤザクラは近年環
境樹として植栽されていますが、
日本の高温や冬季の寒風などの
順応性に課題があると考えられ
るものの、公園樹としての植栽
は条件次第で可能と思われます。
今後、街路樹としては、寄付に
より植栽されている指月西公園
のヒマラヤザクラの生育を参考
に可能性を研究します。市内の
街路樹はツバキ、ラカンマキ、
マツなど工夫した植栽に努めて
いますが、景観上適切な管理に
ついて道路管理者と協議し要望
していきます。

【問】地球温暖化が進む今日、
大気の浄化対策が急務です。そ
こで、大気汚染物質の吸収量が
ソメイヨシノの3〜8倍の浄化
能力があり、緑葉樹で11月から
12月に花が咲き、11か月間常緑
を維持できる環境木「ヒマラヤ
ザクラ」を植樹されてはどうか
ですか。また、歩道や中央分離
帯での生育に適した街路樹植栽

【問】合併によつて萩市の財政
基盤は弱体化し将来が不安視さ
れています。これからの財政運
営を考へる時、観光振興と相まつ

萩市の財政運営と 若者定住策の取り 組み



大照院駐車場

て若者定住が重要課題です。雇
用の促進が期待できる企業誘致
の財源確保のための一案として、
現下、無料となつている主要観
光地の駐車場を有料化されては
どうでしょうか。

【答】交付税が減額されていく
中、10年後、20年後を見据えて
財政運営を行つていく必要があ
ります。厳しい財政状況のもと、
財源をいかに確保するか、大き
な課題です。駐車場については、
可能なものについては、有料化
を検討していくべきと考えてい
ます。その中で、田町駐車場に
ついては夜間有料化を議論して
いますし、他の駐車場について
も有料化を検討しています。

萩市民球場の 跡地問題について

【問】ウエルネスパークへの交
通アクセスは、子どもや老人に
とつて多くの問題があります。
中央公園の整備が始まりつつあ
りますが、時とともに市民の市
政に対する考えも変わります。
せめて旧球場部分については誰
もが多様に活用できる施設とし
て残して欲しいとの声が各方面
からあがっています。計画の見
直しはできないものでしょうか。

【答】萩ウエルネスパークの完
成により、野球などの運動公園
としての機能は、ほとんどが移
行することになり、市民球場は
解体されました。中央公園の整
備に当たり、以前実施した住民
アンケート調査や、石彫公園を
利用されている子ども連れのお
母さん方からも、市民が憩える
ような公園整備を望む声が強
くあります。公園整備の進捗状
況は、財政上の理由から若干遅れ
ていますが、計画に基づき早期
整備に努めていきます。



丸田 勤次
(新志クラブ)

平成19年度の予算 編成の方針と重点 施策について

【問】合併から1年半を迎え、全市的に共通の行政サービスを享受できるように、新市建設計画に従った諸施策の取り組みがなされています。合併3年目の平成19年度は、更に厳しい財政状況が予想されますが、どのような施策に重点をおき、どのような施策を優先されるのか、予算編成の方針について見解をお尋ねします。

【答】新年度予算は新市で編成する2回目の予算でもあり、新市建設計画の諸施策を織り込む必要がありますが、地方交付税の減額等の厳しい現実です。予算編成方針は未定ですが、合併時の約束事項は基本的にそれを踏まえていくという考え方に変わりはあります。但し、従前どおりの事をやりにくくなっていることも事実です。従って取捨

選択を行い、投資効率の大きいもの、緊急性の高いものを優先的に取り上げていかざるを得ない状況です。



萩有料道路

「萩有料道路の早期無料化」への取り組みについて

【問】「小郡・萩道路」の明木側へのルート決定に伴い、県として萩有料道路の利活用も視野に入れ、その検討がなされるようとしています。平成23年を節目に萩市を取巻く幹線道路のネットワーク化が図られようとする時期に市民・経済・観光団体等、全市的な推進体制づくりが必要

です。無料化の早期実現を見据えた市長の見解をお尋ねします。

【答】萩・三隅道路の三隅・明石間が平成19年度に開通予定であり、小郡・萩道路も平成23年度の国体までに開通予定となっています。これらの道路は無料であり、萩有料道路が有料ということは、行政サービスの公平性から見るとバランスを欠いています。無料化については、全市をあげて取り組むべき問題であり、早急に市民組織を立ち上げ、早期の無料化の実現に努めていきます。



宮内 欣二
(日本共産党)

福祉タクシーが一番ええという声に どう対応するか

【問】6月議会でも福祉タクシーの復活を取り上げました。その時に市長は異論抗議は聞いていないと答えました。しかし、7月田万川総合事務所が「くるっ

とバス」の説明会を4会場で開きました。市民から共通してあ

がった声は「福祉タクシーが一番ええ。復活してほしい」というものです。

医療費負担軽減のためにジェネリック医薬品の活用を

【問】医療費の患者負担がどんどん増えています。市民の負担軽減、国保財政の健全化、医療施設の経営改善に資するといわれるジェネリック医薬品。患者の命や健康に影響がない場合にジェネリック医薬品に替えることは負担軽減に有効な方法ではないでしょうか。どう取り組んでいますか。使用するにあたってどんな課題がありますか。

【答】田万川地区の福祉タクシーは、無料券が配布され、きめ細かく運営されていました。今後の交通手段のあり方を示唆するところはありますが、他地域にも普遍的に実施した場合は膨大な金額がかかります。今までの経緯を踏まえ、どういう形で皆さんの合意が得られるか検討していきたいと思えます。しかし、田万川地区だけを優遇することはできないので、できる限りコスト削減をしながら、利用し易い形態を考えていきます。



ぐるっとバス住民説明会

【答】ジェネリック医薬品と呼ばれる後発医薬品の使用促進については、患者の窓口負担軽減等の観点から市民病院、市立の各診療所ともに積極的に取り組んでいきます。しかし、後発医薬品の中には品質・副作用・安定供給等の面において課題を残すものがごく一部含まれていますので、医療機関として信頼性等を確認できた医薬品に限り採用する方針です。このため、後発医薬品に変更できる場合、まずは医師へご相談下さい。



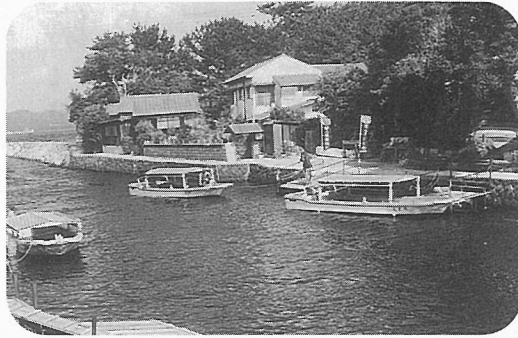
諸岡 皓二
(市民リベラル)

3度目の財政再建 団体とならないた めの施策とは？

【問】現在萩市は借金680億円、年間支払う利息が13億6千万円、経常収支比率(70〜75%以下が望ましい)萩市96%、豊田市63.6%、夕張市116.3%。財政力指数1に近い程良い。萩市0.33、豊田市1.78、夕張市0.22、非常に厳しい財政状況です。3度目の再建団体にならないための施策をお尋ねします。財政を立て直すに奇策は要りませんか。

【答】合併した7市町村は、国の指導により、バブル経済崩壊後の地域経済を立て直すために投資的事業を実施しました。その結果、地方債残高が増加し、財政指標が悪化しています。このバブル期以降の経済状況は、昭和初期の大恐慌と同じ状況であり、そのような状況をご理解下さい。合併7市町村は運命共同体として大同団結して努力

をして行こうという認識のもとでの合併でした。今後は厳しい財政状況となるかもしれませんが、ご協力をお願いします。



遊覧船乗場

萩市の観光対策・ 広域観光・関係団 体・食について

【問】萩市は合併後、広域観光地となりました。「全国・美しい町並み」でも9位に位置されています。これ以上、中心地開発は不用です。文化や景観等は現状のままで充分と考えます。今後は、食とおもてなしでのレベルアップと「リピーターを死ぬほど大切に」そして「地元の人達を死ぬほど大切に」する

とが必要ですが見解をお尋ねします。

【答】萩は江戸時代の地図が今でもそのまま使える町で、まじゆうで近世都市遺産を見ることのできる全国でも例のない城下町です。このまちなみや萩の歴史・自然・文化・豊富な海の幸など萩にしかないものを大切にするのが重要です。そして、一番大事なことは、萩に来られた方に対してしっかりおもてなしをして、リピーターを作ることだと思いますので、観光関係者や市民と一体となって取り組んでいきたいと思えます。



世良 眞名夫
(新 誠 会)

「特急バス・はぎ号」の萩駅での停車を

【問】特急バス・はぎ号は新幹線の博多開業を機に、昭和50年3月、新幹線と直結して小郡、東萩間に陰陽連絡特急便として、多くの市民や観光客を運んでい

ます。しかし、旧萩市内の停留所は、東萩駅と萩バスセンターのみであり、萩駅には停車しません。多くの市民と観光客からの問合せと利便性を考え、萩駅へ停車できるように関係機関への働きかけを。

【答】バス路線の設定は、市民の意向や需要動向を踏まえ、事業者の経営判断によりされています。このことから萩駅への特急バスはぎ号の停車については、地域住民の利用状況などを踏まえ、今後の検討課題とさせていただきます。



萩 駅

山口福祉文化大学の 大学全入時代での 取り組みは

【問】私立大学では、定員割れの傾向が顕著になりつつある中で、早晩国立大学にもその波が押し寄せて来るように聞いています。大学は、受験生を選ぶ時代から受験生に選ばれる時代へと厳しい変革の時代を迎えようとしています。そのような中で大学全入時代の到来に対し、山口福祉文化大学では、どのような取り組みがなされるのか、お尋ねします。

【答】大学全入時代に特色のある大学でなければ生き残ることはできないとの認識で、資格の取得に重点を置き、ダブルスクール・ダブルライセンスを発想され、専門学校併設を計画されています。資格を持つ就職するなど卒業後の姿がみえるものに関心が集まるという社会情勢を踏まえたものです。また、奨学金の制度化や入学金の無料化、低い水準の授業料など入学しやすい環境や地域密着型の大学運営も特色として訴えられています。



尾木 武夫
(新志クラブ)

集落営農の推進と 持続可能な組織の 育成を

【問】農政が大きく変わります。農業従事者の減少や高齢化、農産物価格の低迷、農地水環境保全対策等の為、農業経営の持続的発展を推進する目的で集落営農組織づくりを推進しています。団体の計画に単県事業の地域水田農業再構築推進事業にふさわしい要望があれば市は対応できるのか、また19年度に団体ができれば県に事業費枠の要望がで



集落営農の話し合い

きるのかお尋ねします。

【答】多くの農業者が新対策の「担い手」になれるよう市職員をはじめ、県、JA職員が集落に出向き、集落リーダーと一体となって地域の実態に見合う集落営農組織づくりの支援を行っています。集落営農組織や農業生産法人設立の目的のひとつは機械等の過剰投資を防止しようとするものですが、設立した後

第21回国民文化祭 やまぐち2006 について

【問】開催まであと僅かな日数となりました。ちまたの声は、萩市民でも、山口県民でも、なんとなく国民文化祭があるらしいと言っている感じが受け止めてもらっていません。国を挙げての行事を山口県の会場で引き受けるのであり、失敗は許されません。萩市が大成功を納める為にも今から更に情報手段を駆使して萩市と国文祭のPRをする

必要がありますが見解をお尋ねします。

【答】国民文化祭は、本年11月3日から12日までの10日間開催され、萩市でも5事業を実施します。PRについては、各局テレビによるPR、横断幕・のぼり・ポスターの掲示、夏祭りをはじめ各地域のイベントでのPR、100日前イベントなどあらゆるPRを重ねてきましたが、さらにPRに努めていきます。期間中は全国から1万人以上の方が来萩されます。萩市民をあげておもてなしをしたいと考えていますので、ご協力をお願いします。



大村 越夫
(無所属)

中央公園整備の 進捗状況を問う

【問】最近、中央公園の木々に赤いテープがまかれ、いよいよ事態が動き出したかなあこの感があります。



中央公園整備予定地

美術館寄りには、春、市民の憩う桜木・国道側には神々しい黄金仏を思わせる銀杏木があります。中央部には、墨土が放置されています。1日も早い中央公園整備を望みます。

【答】中央公園整備の進捗状況は、公園整備のための用地測量・立木調査が最近終了しました。現在、測量結果を基にした給排水・電気等の設備計画、造成計画および植栽計画等の設計に着手しています。ご指摘の公園内にある盛土は、球場解体時の残土を今後の造成工事等に活用するためのものです。工事は平成19年度から本格的に整備する予定で、本年度は11月開催の国民文化祭の終了後から一部工事に着手する予定です。

新図書館に機能の 拡充強化整備を求 む

【問】新図書館につきましてはすでに協議会が立ち上げられ、4年後の供用開始を目ざして事態が動きはじめました。新図書館について、書架・書棚を増設され、蔵書を少しでも多く市民の目にふれるようにして欲しいものです。また、現在、学生の学習室として利用されているホールの増床・機能の拡充が必要だと思えますが見解をお尋ねします。

【答】新図書館の整備においては、文化的な書物等は除き、できるだけ皆さんが本を手にとっで見ることができるようになっています。また学習室については、全国的な傾向としては、高校生等の学習を敬遠する方向にあると思われます。しかし萩市内の図書館では、学習に利用可能なスペースを設けており、空調設備があるため、夏休みや平日でも汽車通学等の生徒が勉強しています。整備にあたって、学習ができる部屋は設置していく考えです。

9月定例会

9月萩市議会定例会は、9月4日～21日の18日間の会期で開催され、平成18年度、萩市一般会計補正予算（第2号）外議案37件を可決、承認、認定、同意しました。

総務委員会

- 平成18年度萩市一般会計補正予算(第2号)
11、12ページ参照
- 平成17年度萩市土地取得事業特別会計決算認定について
13ページ参照
- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。
- 萩市消防本部及び消防署の設置等に関する条例等の一部を改正する条例
消防組織法の一部を改正する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。
- 山口県市町村災害基金組合の解散に関する協議について
- 山口県自治会館管理組合の解散に関する協議について
- 山口県市町村災害基金組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- 山口県自治会館管理組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- 山口県市町総合事務組合の設立について
上記5議案は、各一部事務組合等における県内市町の共同処理事務を一元的に処理するため、新たに山口県市町総合事務組合を設立すること並びにこれに伴い山口県市町村災害基金組合及び山口県自治会館管理組合を解散すること及び財産処分することに関し協議することについて、市議会の議決を求めるもの。

審査概要

9議案について審査した結果主に平成18年度萩市一般会計補正予算（第2号）に審議が集中しました。農業チャレンジ支援事業は都市住民や団塊の世代を対象とし、定住促進を図るとのことです。洪水ハザードマップ作成業務は大井川、須佐川で実施し、平成21年度に阿武川、明木川、蔵目喜川、田万川を予定。

教育民生委員会

- 平成18年度萩市国民健康保険事業(事業勘定)特別会計補正予算(第1号)
12ページ参照
- 平成18年度萩市介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)
12ページ参照

- 平成17年度萩市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市福祉援護資金貸付事業特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市国民健康保険事業(事業勘定)特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市国民健康保険事業(直診勘定)特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市老人保健事業特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市介護保険事業(保険事業勘定)特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市介護保険事業(介護サービス事業勘定)特別会計決算認定について
13ページ参照
- 平成17年度萩市病院事業会計決算認定について
収益的収支については、収入総額は、23億1,155万6,679円、支出総額は、23億8,301万1,530円で、差引き7,145万4,851円の不足。
資本的収支は、医療機器の購入等により、収入総額は、1億2,804万9,976円、支出総額は、1億8,646万5,858円で、差引き5,841万5,882円の不足となりましたが、これは過年度分損益勘定留保資金により補てんするもの。
- 萩市国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。
- 萩市住民基本台帳の閲覧等の制限に関する条例を廃止する条例
住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行により、住民基本台帳の閲覧について同条例と同様の趣旨により制限が設けられることに伴い、条例を廃止するもの。
- 工事請負契約の締結について
萩第二リサイクルセンター建設工事に係る請負契約を締結することについて、市議会の議決を求めるもの。



第二リサイクルセンター建設予定地

審査概要

平成17年度国保会計決算では、1267世帯が滞納になっており、そのうち短期保険証を発行した世帯が310世帯、資格証明証を発行した世帯が71世帯あることがわかりました。

資格証明証では医療機関の窓口で全額支払うこととなります。本当に医療が必要な人が受診できなくならないよう対応することを求めました。

経済委員会

○平成17年度萩市駐車場事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○市営土地改良事業の変更について

むつみ地域における古櫃(こびつ)地区のため池等整備事業に係る事業費の変更に伴い、土地改良事業を変更することについて、市議会の議決を求めるもの。

審査概要

平成17年度萩市駐車場事業特別会計決算認定については、市営駐車場4施設のうち、特に新堀駐車場の維持管理に関し、老地区朽化に伴う壁面改修工事等施設の整備については、利用者の安全性を第一義とし、さらに運営の健全化を要望する。

市営土地改良事業の変更については、ため池等整備事業に係る事業費の減額を行うもので、今後においても可能な範囲で、創意工夫に配慮した事業執行に努められたい。



萩市営駐車場

建設委員会

○平成18年度萩市水道事業会計補正予算(第1号)

資本的収支の支出額を4,496万9千円増額し、補正後の総額を12億6,238万4千円とするもの。

今回の補正は、大井地区簡易水道整備事業における配水管布設工事に係る事業費を追加計上するもの。

○平成17年度萩市簡易水道事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市公共下水道事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市特定環境保全公共下水道事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市農業集落排水事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市漁業集落排水事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市林業集落排水事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市特定地域生活排水事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市個別排水事業特別会計決算認定について 13ページ参照

○平成17年度萩市水道事業会計決算認定について

収益的収支については、収入総額は、6億7,300万4,942円、支出総額は、6億5,791万1,665円で、差引き1,509万3,277円の純利益を計上。

資本的収支は、主な事業としてマンガン対策として浄水施設整備に一部着手したほか、国道262号改良工事等にあわせ、配水管整備工事を実施し管網の整備を行う。また、大井簡易水道施設の実施設計及び用地買収に着手。この結果、収入総額は、1億4,036万5,500円、支出総額は、3億4,779万714円で、差引き2億742万5,214円の不足となりましたが、これは過年度分損益勘定留保資金等により補てんする。

以上により、当年度の未処分利益剰余金は、2億3,158万5,577円となり、このうち減債積立金に80万円を、2,000万円を建設改良積立金として処分し、残額の2億1,078万5,577円については翌年度へ繰り越すこととするもの。

審査概要

声や語り口から市長と聞き紛う説明職員が、当社は企業会計でありますからと胸をはる。

今回審議は決算認定議案が殆どで、件の氏は決算の正確さと透明性を強調してみせる。

自治省が行政全般に複式簿記の導入を奨励したことがある。財務・損益をみる一助となるが大切なのは人であろう。

平成18年度9月補正予算の概要

一般会計

1. 補正の概要

今回の補正は、前年度余剰金の基金への積立や、議会特別委員会の設置・農業担い手確保対策など緊急に実施しなければならない行政課題に対応すべき経費、大雨による農林業施設の災害復旧費など、当初予算編成後の不測、緊急対策に要する経費に過不足が生じたことによるものです。

なお、補正財源は、国・県支出金などの特定財源のほか一般財源として、前年度繰越金及び地方交付税を計上しました。

2. 補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
30,943,410	404,609	31,348,019

3. 歳出予算のうち主なもの

(単位：千円)

費目	内容	補正額
【議会費】	◎議会運営事業 萩市の直面する行政課題について、議会の立場で調査・研究を行い、市政の発展、住民福祉向上に資するため次の特別委員会を設置する。 ○主要道路整備促進調査特別委員会 ○行財政改革調査特別委員会 ○明治維新館(仮称)・陶芸の村公園整備調査特別委員会	2,447
【一般管理費】	◎職員退職手当基金管理事業 前年度決算余剰金の一部について、今後予想される職員の大量退職に備え、積立を行う。	200,000
【財政管理費】	◎財政調整基金管理事業 前年度決算余剰金の一部について、年度間の財源の調整を図り、今後における財政の健全な運営に資するため、積立を行う。	150,000
【農業振興費】	◎(新)農業チャレンジ支援事業 新規就農への糸口として、「農業体験塾」を開催するとともに、住まいなどの情報提供を行い、農業担い手の確保及び定住促進を図る。 内容：2日間の農作業体験(水稻・花き・トマト・畜産の4コース) 総事業費：500千円 財源内訳：県250千円(1/2)市250千円(1/2)	500
【畜産業費】	◎資源循環型肉用牛経営育成事業 肉用牛の増頭に必要な施設整備(肥育20頭規模牛舎1棟、鉄骨造、約300㎡)に対して助成を行い、事業規模拡大による新規雇用の創出、経営基盤の確立を図る。 事業主体：農事組合法人 長沢台生産組合 総事業費：約6,000千円	2,258
【災害対策費】	◎(新)洪水ハザードマップ作成事業 洪水時の浸水予想範囲などを地図上にまとめた「洪水ハザードマップ」の原版を大井川・須佐川の2河川について作成し、災害時の迅速な避難体制の確立、市民の防災意識の向上を図る。 総事業費：7,000千円 財源内訳：国2,333千円(1/3) 県2,333千円(1/3) 市2,334千円(1/3)	7,000
【文化財保護費】	◎文化財保存事業 国指定重要文化財の保存修理及び防災施設改修に対して助成を行い、「歴史と文化に抱かれたまちづくり」を推進する。 ○大照院鐘楼門保存修理事業 事業主体：宗教法人大照院 総事業費：18,000千円 財源内訳：国14,400千円(8/10) 県1,800千円(1/10) 市900千円(0.5/10) 大照院900千円(0.5/10) (参考)事業期間：平成18年度～20年度(3か年) 3か年の事業費：147,940千円 ○東光寺防災施設改修事業 事業主体：宗教法人東光寺 総事業費：3,500千円 財源内訳：国1,750千円(1/2) 県875千円(1/4) 市437千円(1/8) 東光寺438千円(1/8)	1,337

(単位：千円)

費目	内 容	補正額
【農業施設 災害復旧費】	◎(新)農業施設災害復旧事業 6月30日から7月2日にかけての梅雨前線による大雨災害の復旧事業。 ○萩地域 単独5件 1,666千円 ○田万川地域 補助5件 4,107千円 単独1件 346千円 ○須佐地域 補助4件 7,283千円 単独2件 542千円 ○福栄地域 補助2件 2,917千円	16,861
【林業施設 災害復旧費】	◎(新)林業施設災害復旧事業 7月1日の梅雨前線による大雨災害の復旧事業。 ○田万川地域 補助2件 8,612千円 単独4件 1,082千円	9,694

国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

1. 補正の概要

今回の補正は、前年度余剰金の基金への積立や、健康保険法の改正により新たな制度として保険財政共同安定化事業が創設され10月1日から施行されることに伴う経費、国の特別調整交付金（保健事業）内示に伴い実施するヘルスアップ事業など、当初予算編成後の制度改正等に要する経費が生じたことによるものです。

2. 補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7,183,900	873,569	8,057,469

3. 歳出予算のうち主なもの

(単位：千円)

費目	内 容	補正額
【保険財政安定化 事業拠出金】	◎(新)保険財政共同安定化事業拠出金 県内市町国民健康保険保険者間の保険料の平準化、財政の安定化を図るため、国民健康保険連合会に対し、標準保険財政共同安定化事業拠出金を基準とした負担額を拠出する。	675,345
【疾病予防費】	◎(新)国保ヘルスアップ事業 生活習慣病の予備軍を対象に健康状態と生活習慣の調査を行い、生活習慣病の予防に向けた教室等を開催し、健康づくりを支援することにより、将来的に医療費の抑制を図る。 事業主体：萩市 財源内訳：国7,037千円 市379千円	7,416
【国民健康保険 基金積立金】	◎国民健康保険基金管理事業 前年度決算余剰金を基金に積み立て、将来の保険給付費の支給等に備えることにより、国民健康保険財政の健全な運営に資する。	176,308

介護保険事業（保険事業勘定）特別会計

1. 補正の概要

今回の補正は、前年度余剰金の基金への積立や、前年度給付費等の確定に伴う国等への返還金に係る経費が生じたことによるものです。

2. 補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
5,338,600	90,225	5,428,825

3. 歳出予算の内容

(単位：千円)

費目	内 容	補正額
【介護給付費準備 基金積立金】	◎介護給付費準備基金管理事業 前年度基金繰入金の余剰金を基金に積み立て、将来の介護給付費の支給等に備えることにより、介護保険財政の健全な運営に資する。	26,113
【償還金】	◎償還金 前年度介護給付費等の確定に伴う、前年度受入済の国・県支出金、支払基金交付金の精算返還金。	64,112

平成17年度萩市一般会計並びに特別会計決算の概要

(単位：千円)

区 分	予算現額	歳 入			歳 出			歳入歳出 差引額	
		収入済額	執行率 (%)	構成比 (%)	支出済額	執行率 (%)	構成比 (%)		
一 般 会 計	35,045,083	33,880,038	96.7	56.9	33,004,985	94.2	56.8	875,053	
特 別 会 計	住宅新築資金 等貸付事業	2,800	13,892	496.1	0.0	2,797	99.9	0.0	11,095
	福祉援護資金 貸付事業	3,100	8,649	279.0	0.0	3,052	98.5	0.0	5,597
	土地取得事業	800	718	89.8	0.0	718	89.8	0.0	0
	国民健康保険事業 (事業勘定)	6,978,626	7,070,857	101.3	11.9	6,619,344	94.9	11.4	451,513
	国民健康保険事業 (直診勘定)	419,004	387,888	92.6	0.7	387,888	92.6	0.7	0
	老人保健事業	9,028,408	8,744,978	96.9	14.7	8,806,369	97.5	15.2	△61,391
	介護保険事業 (保険事業勘定)	4,917,501	4,915,231	100.0	8.3	4,825,006	98.1	8.3	90,225
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	59,898	56,867	94.9	0.1	56,867	94.9	0.1	0
	簡易水道事業	448,315	410,567	91.6	0.7	410,567	91.6	0.7	0
	公共下水道事業	2,551,486	2,509,141	98.3	4.2	2,487,111	97.5	4.3	22,030
	特定環境保全 公共下水道事業	74,956	71,463	95.3	0.1	71,463	95.3	0.1	0
	農業集落排水事業	736,767	715,713	97.1	1.2	715,713	97.1	1.2	0
	漁業集落排水事業	710,059	683,128	96.2	1.1	654,508	92.2	1.1	28,620
	林業集落排水事業	2,400	2,150	89.6	0.0	2,150	89.6	0.0	0
	特定地域 生活排水事業	91,693	73,184	79.8	0.1	73,184	79.8	0.1	0
	個別排水事業	10,500	9,588	91.3	0.0	9,588	91.3	0.0	0
駐車場事業	19,500	21,901	112.3	0.0	18,657	95.7	0.0	3,244	
小 計	26,055,813	25,695,915	98.6	43.1	25,144,982	96.5	43.2	550,933	
合 計	61,100,896	59,575,953	97.5	100.0	58,149,967	95.2	100.0	1,425,986	

決算審査特別委員会 <審査概要>

委員会では、審査方針として議決された予算が目的に沿って効果的に執行されたか、諸事業の成果の確認とあわせ、不用額および収入未済額の理由等について参与からの詳細説明をもとに審査しました。

歳入については、固定資産税、都市計画税の収納率がそれぞれ85%、82.7%と低調傾向にあり、市税の収納率向上に一層の努力を望むものです。地方交付税については、予算段階で可能な限り精度の高いものを計上することとあわせ、特別交付税にあっては、県に対しても予算獲得に向け、当市の財政状況、今後実施予定の重要施策の理解を求め、有効な確保対策に期待するものです。

歳出については、不用額全体は、次年度への財源確保の意味から、支出のチェックに重点をおき、歳出の抑制に努められた結果ではあるものの、合わせ、財源不足が加速する現状においては、多くの市民ニーズに計画的且つ、弾力的に対応していくためにも、当初段階から可能な限り歳出見込みについて十分精査され、精度の高い予算編成に務められたい。

平成17年度決算は、合併初年度の行政執行の成果を表すものであり、内容においては各施策において更に継続充実を図るもの、また抜本的な見直しをすべきもの等、次年度に向け十分な分析、検討を要するところです。

可決された議員提出議案

公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保を求める意見書

建設産業は、我が国の基幹産業として経済活動と雇用機会の確保に大きく貢献してきた。建設産業の特徴である元請と下請という重層的な関係の中で、建設労働者の賃金体系は不安定な状態にあり、加えて、不況下における受注競争の激化と公共工事の減少が、施工単価や労務費の引き下げにつながり、建設労働者の生活に大きな影響を及ぼしている。当市においても、改善を求める声が聞かれる。

このような中、国では平成12年11月に「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」が制定され、参議院で「建設労働者の賃金、労働条件の確保が適切に行われるよう努めること」との附帯決議がされている。また、諸外国においては、公契約における適正な賃金の支払いを確保する法律、いわゆる『公契約法』の制定が進んでいる。

よって、国におかれては、建設労働者の適正な労働条件の確保とともに、工事における安全や品質が適切に確保されるよう、公共工事における新たなルールづくりが必要であることから、下記事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

- 1 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保ができるよう、「公契約法」の制定を推進すること。
- 2 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議事項について、実効ある施策を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年9月5日

萩市議会

議案に対する討論

議案第76号、議案第80号
に対するそれぞれ反対・賛成の
討論が行なわれました。(要旨)
賛成多数で可決されました。

議案第76号 平成18年度萩市一般会
計補正予算(第2号)

反対

議会費に特別委員会設
置にかかわる予算が含ま
れています。この特別委員会の設置
目的に一定の方向性が示されて提案
されたことから、設置に反対しまし
た。よってこの予算も認めることが
できません。

賛成

今回の補正予算案は、
農業の担い手確保や畜産
業への就業者対策等の第一次産業の
振興に関するものや、大雨被害によ
る農林施設の災害復旧事業などの緊
急止むを得ない事業を中心とするも
のです。これらは全力をあげて早急
に取り組むべきものばかりで、適切
な補正予算であると確信しています。

議案第80号 平成17年度萩市一般
計決算認定について

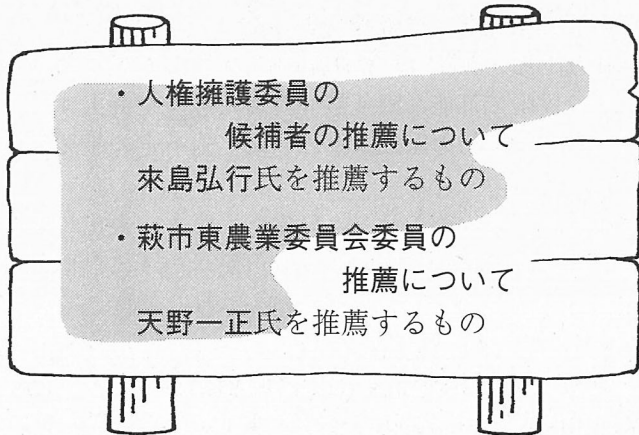
反対

市民の補助金や助成を
削り、施設使用料、利用
料の有料化の中で6億8、955万

賛成

17年度が旧7市町村で
編成された7つの考え方
による予算を、単純合算した予算に
かかる決算であったことを考えると、
不執行額の発生もやむを得ません。
また予算執行の面でも合併直後で、
新たに統一した行政手法の模索期で
した。このような中で黒字決算は、
財政運営が適切に行われた結果です。

円が黒字になったことに、市民感情
として納得しがたいものがあります。
特別参与の設置、陶芸の村公園整
備事業への疑問、田町商店街駐車場
の建設に過疎債活用、吉田松陰のブ
ロンズ像譲与などからも認めること
ができません。



特別委員会設置される

● 主要道路整備促進

調査特別委員会

道路は豊かな市民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備を全市民が長年にわたり熱望しています。本委員会は、経済活性の根幹を成す道路整備、すなわち小郡・萩道路および山陰自動

車道路の整備について、早期実現を図るための調査・研究とあわせて、関係機関に対して、萩市議会として強く働きかけを行なおうとするものです。

◎ 委員長

杉山 浩司

○ 副委員長

大村 越夫

木村 靖枝

左野 忠良

柴田 保央

田中 良

長岡肇太郎

松尾 義人

丸田 勘次

守永 忠世

● 行財政改革

調査特別委員会

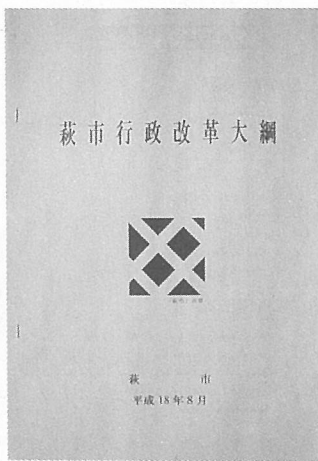
新萩市も、合併2年目を迎え「新市建設計画」の早期具現化を最優先課題とし、行政改革大綱を踏まえながら、各主要事業の調整や財政運営の適正化に向け努力しているところです。議会としても、自治体の根幹となる行財政の確立が本市の将来を決定づけるとの観点から、時代の変化に即した効率的な財政運営に基づく事業の展開や、的確な市民サービスの提供が一体的かつ、継続的に図られるよう、現行の運営の具体的な見直しを含め、調査・研究をするものです。

● 明治維新館（仮称）

陶芸の村公園整備

調査特別委員会

陶芸の村公園整備事業は、事業着手より20年が経過していますが、いまだ用地取得のみの段階です。公園の中核施設として山口県が建設する歴史資料館と交流拠点を備えた施設として計画されていた明治維新館（仮称）は、本年の県議会2月定例会において財政状況の悪化を理由に当面の見送りが表明されたところです。公園整備事業は、相当の年数を経過していることから、再度全体像の把握と今後の事業方針も含め、総合的な調査研究を行うことにあわせ、明治維新館（仮称）の建設計画の再開に寄与しようとするものです。



◎ 委員長

西元 勇

○ 副委員長

横山 賢治

近江 郁宣

岡 通夫

小林 正史

齊藤 眞治

坪井 豊

中村 洋一

平田 啓一

◎ 委員長

世良眞名夫

○ 副委員長

江原 任子

井関 稔

尾木 武夫

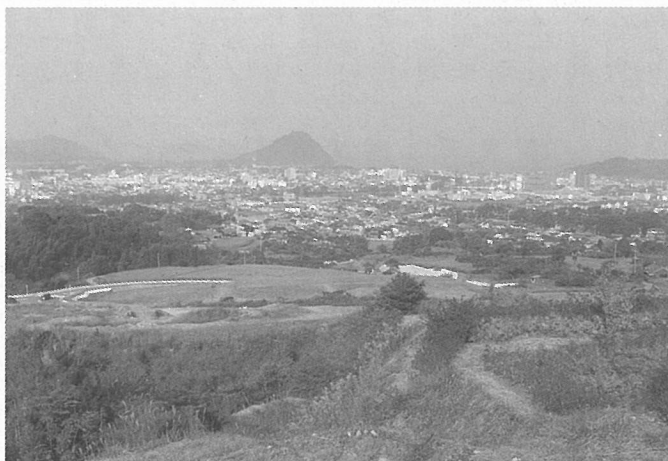
小茅 稔

西島 孝一

藤田 克弘

宮内 欣二

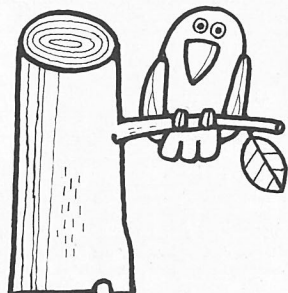
諸岡 皓二



陶芸の村公園整備事業計画地



整備中の萩三隅道路





交通安全自動車パレード&ルート191 セーフティーロードキャンペーン



カヌーフェスティバル



大島島民運動会



イカ祭り



むつみ昆虫王国



明木地区ふるさとまつり



紫福小学校 ふれあい学校田

スの先生がかまってくれ、2年か
ら受け持ちとなり学校嫌いが一変。
心を通わせ立ち直らせてくれた大
好きな先生は今もご健在で何より
嬉しい。今日あるのも先生のお蔭
と感謝の思いで一杯！いついつま
でもお元気で！

戦争の傷痕は様々、幼い頃の体
験から、no more 戦争！
(H・E)

つれづれなるままに



「戸が開かん」と
ハヤサレ集団登下校
の辛かったこと。空
襲警報のサイレンに
無意識にカバンを持
ち家路ではなくルン
ペンおじさんの住む
城東橋の下へ潜む。
担任や母親の声にい
たたまれず姿を見せ
叱られては泣きの繰
り返し。そんなキモ
ヤキつ子に隣のクラ

戦後61年が過ぎても夢と現実の
中で、なお薄れず思い出すこと。
空襲警報発令のサイレンが鳴る
やいなや玄関で待つ父の左右の腕
に抱えられ、幼い妹と共に急ぎ防
空壕へ。空は真昼のように明るく
連続花火の如し。庭の壁に焼夷弾
が落ち、戦禍を逃れ親子6人が萩
へ疎開。忘れもしない夏みかんの
実る5月、遅れて新1年に入学。
関西弁の「あかん」

編集後記

夏日が連日続いた今夏、
台風13号の後、秋が駆足で
やってきました。近年の半
端ではない自然災害に心が
痛みます。私ひとり位取り
組まなくてもではなく、私
がしなければという思いで
地球温暖化防止に、できる
ことから取り組みを始め、
天変地異が防げればという
思いの今日この頃です。

- 表紙の説明
神楽の花形「八岐大蛇」
昭和51年、むつみ地域
に古くから伝わる神楽舞
が地元青年有志により復
活。「石見神楽」のテンポ
の早い「八調子」の系統
を受け継ぎ、流麗で莊重
な舞として子どもからお
年寄りまで広く親しまれ
ている。
- 夏日が連日続いた今夏、
台風13号の後、秋が駆足で
やってきました。近年の半
端ではない自然災害に心が
痛みます。私ひとり位取り
組まなくてもではなく、私
がしなければという思いで
地球温暖化防止に、できる
ことから取り組みを始め、
天変地異が防げればという
思いの今日この頃です。
- 委員会より編集委員会
- 委員長 木村 靖枝
副委員長 平田 啓一
委員 江原 任子
大村 任子
岡 通夫
長岡肇太郎
松尾 義人
宮内 欣二
守永 忠世
横山 秀二